



写真美術館(花の写真館)History

写真美術館(別名「花の写真館」)は、大正11(1922)年に、当時の通信省が東北北海道等の管轄を目的とした電気試験所福島試験所として併設された大正ロマンあふれる石造りの歴史的建造物です。平成14年6月に福島市有形文化財に指定されています。

平成15年4月に写真美術館として開館。写真家の故・秋山庄太郎氏から寄贈された作品を中心に展示する常設展示室と市民が利用できるフォトギャラリーを併設した施設として多くの市民に愛されてきました。しかしながら、平成23年3月11日の東日本大震災により被災し、長年休館を余儀なくされています。

現在、写真美術館では令和3年度の再開館に向けて耐震補強工事などの復旧工事を実施しており、新たな機能を備えた施設に生まれ変わります。



ふくしま花案内人より愛秋

花見山History

例年、国内外から20万人を超える観光客が訪れる花見山。ここは、花木農家が点在する地域で、中でも花見山公園は、「美しく咲く花々をたくさんの人に見てほしい」との思いから、昭和34年4月に私有地が一般開放され、初代園主から代々受け継がれてきました。

日本を代表する写真家の故・秋山庄太郎氏は、昭和50年代に初めて花見山公園を訪れ、その美しさに強く惹かれて以来、ほぼ毎年春には撮影に訪れ、「福島市には桃源郷がある」との名言とともに、魅力を全国に発信しました。

春になると、ウメやレンギョウ、トウカイザクラ、ボケ、ハナモモなど約70種類もの花々が一斉に咲き競い、山全体が淡いピンク色に染まる様は、まさに「桃源郷」そのものです。



花見山特設サイト→

会場では、秋山庄太郎氏が撮影された花々や著名人の貴重な写真50作品が展示されます。また、桜の木のプロジェクションマッピング、花見山の花木、「花見山と秋山庄太郎」の深い結びつきを描く上映コーナーなど見どころ溢れる展示会となっております。



桜のフォトフレームで写真撮影をお楽しみください。

①スマートフォンで無料アプリ「COCOAR2」をダウンロード

「App Store」もしくは「Playストア」で「COCOAR2」と検索するか、右記のQRコードよりアプリをダウンロードしてください。



②「COCOAR2」を立上げ、チラシの表面全体が画面に入るようにスキャン!

桜のフォトフレームが表示されたら一緒に写真撮影ができます。



ここに全体が入るようにスキャンして下さい